

エンシュウツリフネ 愛知県指定希少種。

基準産地は静岡県浜松市天竜区水窪^{とちゅう}の戸中山

現存しているか否かの情報は不明。

秋葉山のものはニホンジカの食害により絶滅。

愛知県では茶臼山頂上付近と、面の木峠にのみ知られる。

花がピンクで小さく、葉の下に隠れるように咲く。

最初は林弥栄博士が 1949 年に採集した標本を元に中井猛之進博士が新種として記載 *Impatiens microphylla* Nakai.

その後、原寛博士が紀伊半島から四国、九州北部に分布するハガクレツリフネの変種 *I. hypophylla* Makino var. *microhypophylla* (Nakai) H.Hara に組み替えた

茶臼山でも、面の木峠でもニホンジカによる食害を受けて絶滅寸前となっており、鹿除けの柵を設置して保護を図っているが……

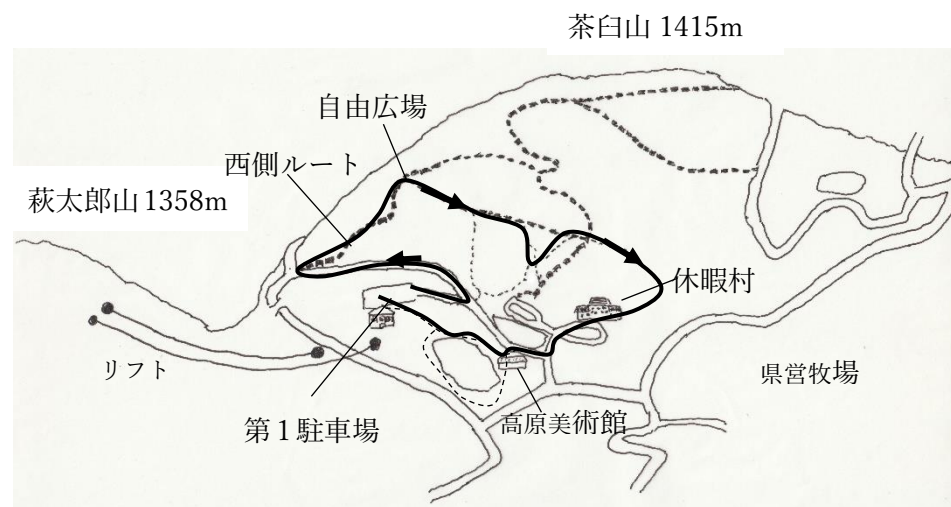


NPO 法人 東三河自然観察会 40 周年記念地域観察会

愛知県の最高峰 茶臼山自然観察会

2022 年 9 月 11 日 (日) 10:00~14:00

受付 9:30~ 第 1 駐車場



主催 NPO 法人東三河自然観察会 後援 豊根村

この事業は「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」を活用しています



秋の七草 いくつ見つかるかな？ 山上憶良の歌で決められた。

秋の野に 咲きたる花を 指^{および}おり かき数ふれば 七草の花
萩の花 尾花^{くず} 葛花^{なでしこ} 撫子^{おみなえし}の花 女郎花^{ふじばかま} また藤袴 朝顔の花

ここでの朝顔は、キキョウのこと。小学校1年生で栽培するアサガオは熱帯アジア（近年の説では熱帯アメリカ？）原産と言われている外来の園芸植物

尾花はススキのこと。どれがススキかわかるかな？



サワラの林

ほとんど土壌が無い環境で、根が石を抱え込んでいる。

ヒノキとよく似ているが、サワラの方が湿った土地を好む。

ヒノキはよく肥えた土壌の厚い場所に多く生育する。

葉の裏の気孔線（白い部分）の形がちがう。

ヒノキは細くてYの字型

サワラは幅広くてXの字型

カワチブシ（河内附子）

附子^{ぶし}は生薬としての名。毒としての呼び名は附子^{ぶす}

